

平成21年度第1回 市原市文化財審議会 議事録

1 日 時：平成21年6月3日（水）13:45～16:15

2 場 所：市原市役所議会棟第3委員会室

3 出席者：

（委員）川戸彰・鈴木仲秋・市毛勲・小野寺節子・香月節子・紺野敏文・鷹野光行
・西脇康

（事務局）山崎正夫（教育長）・永野勇（生涯学習部長）・渡邊公夫（ふるさと文化課長）・
新井一美（ふるさと文化課長補佐）・安藤明弘（埋蔵文化財調査センター所長）・
浅利幸一（文化財保護班GL）・小川浩一（副主査）・小橋健司（主任）

（傍聴者） なし

4 議 題：審議事項

（1）会長・副会長の選任

（2）指定文化財候補について

報告事項

（3）①平成20年度文化財保護事業について（実績報告）

②平成21年度文化財保護事業について（予定）

（4）平成21年度文化財審議会の予定

5 議 事

（事務局）委員総数10名のうち8名の委員が出席し定数を満たしているため、審議会が成立していることを報告する。

（1）会長・副会長の選任

・文化財審議会の会長・副会長は、市原市文化財の保護に関する条例第26条第2項の規定により各委員の互選によることとなっていることから、委員の推薦を受け多数決により以下のとおり決した。

・会 長 川 戸 彰 氏

・副会長 鈴木仲秋 氏

・以下、議事（議題）進行は会長が進める。

（2）指定文化財候補について

（会 長） 次第に添って進めてまいります。初めに指定候補について、古文書について事務局より説明願います。

（事務局） 2件ございます。

1件は、前回審議会で専門委員から古文書指定方針をしめしていただき、各委員の同意を得ましたが、その後、太閤検地帳「姉崎領谷田之郷縄打水帳」に関して、所有者から指定同意の内諾を得られましたのでご報告いたします。

- (会 長) 委員(古文書専門委員)、この太閤検地帳に関して、資料の説明があればお願いします。
- (委 員) 読みは「やたのごう」です。当時の複本ないし写本です。一括指定でよいのではないかと。天正19・文禄3年に検地が行われていることを示す重要な史料。
- (会 長) 説明がありましたが、他の委員から何かご意見はありますか。
- (委 員) 古文書については、一覧表にあります活字になって起こされていますか。
- (委 員) 市原市史に掲載があります。
- (会 長) 太閤検地帳に関して指定の事務を勧める方向でよろしいか。
- (委 員) 異議なし。
- (会 長) もう1件の古文書についておねがいします。
- (事務局) 江戸時代の古文書になります。指定の方針資料1(3)の6番目の要件を満たすものです。出羽三山・富士講関係です。市内今津朝山の能蔵院所蔵の古文書です。
- (会 長) 古文書専門委員、この太閤検地帳に関して、資料の説明があればお願いします。
- (委 員) 享保18年、当時の書体で古文書だが、場合によっては民俗文化財として取り扱うか。
- (委 員) 富士講が続いているのであれば、広くくり方を考える必要があるかも。
- (委 員) 以前、事務局に富士吉田市で富士講を扱っていることを伝えましたが、あちらの資料集が出ていますね。現在でも市原からむこうに行っているとのことで、講の帳面もあるらしい。富士吉田市ではすでに追いかけているということです。
- (委 員) 講の中心は市原にあるのでしょうか。
- (委 員) そうです。
- (委 員) 現在も実態があるということですか。
- (委 員) 2006年時点であります。毎年お参りしているとのこと。
- (会 長) 富士山をのぞむ地域にあるからでしょうね。
- (委 員) 浅間山に虚空蔵菩薩があるが、富士講にも関係するか。田所さんの関係で一度調査している。そっちの方とも総合的に考えるようにしてほしい。
- (委 員) コノハナサクヤの木像とも富士講は関係する。調査をお願いしたい。
- (委 員) 以前、文化課職員に尋ねられた件は指定の判断としては「ぎりぎり」という返事をした記憶がある。
- (委 員) 大宮神社に富士講の碑がある。系図が記してある。
拓本を取っただけで途中になってしまっている。
各神社に岩をつんで、富士塚が作られている。大宮神社にも。飯香岡にもある。
- (会 長) 富士塚はいろいろありますね。今もやっているようです。
- (委 員) 今の講と古文書の講がつながることは確認できるのでしょうか。
- (委 員) 今の所何とも言えません。
- (委 員) 古文書と繋がるかどうかで方向性が分かりますね。

- (事務局) 今津朝山に河原という小字はない。
当時その小字があったかどうかは調査する必要があると考えております。
- (委員) 三山信仰については市史に大きくあるが、富士講についてはあまりない。
今後、記録を集めていくことを考える必要があるのかもしれない。
- (委員) 身延講もある。講集団がいろいろある。地元では富士講があり、代参で行く。馬に乗って村で儀式を行って、お金をまいて出発。ここ5、6年ぐらいで行かなくなった。
- (会長) それではこの古文書について指定候補の一つとして調査を進める方向でよいでしょうか。
- (委員) 異議なし。
- (会長) 次に、指定文化財候補についての、菊間八幡神社奉納神楽について、事務局説明をお願いします。
- (事務局) 神楽については資料集に記載があります。
前回、保持団体から指定について相談があったということで議事に出たものです。
神楽の奉納は、春の大祭平成21年4月12日(毎年4月の第2日曜日)と大晦日に演じられます。演目は、巫女舞、猿田彦、稲荷様、八幡様、恵比寿様の5演目が奉納されました。
映像があるのでご覧ください。委員に感想をいただければと思います。
<映像>
2時間ぐらい演じ、最後に餅撒きをします。面は一昨年新調したものと伺っております。御神楽は、戦中戦後に途絶えた時期があるようですが、氏子の皆様の熱意で復興し、現在に至っています。
御神楽奉納の歴史は古く、八幡神社棟札に「文政12年(1829)9月7日」、「死穢あるにより、神輿3基・神楽殿一字を焼き捨てる」とあり翌、「文政13年(1830)閏3月13日、神主根本大式、神楽殿再建遷宮」とあり、19世紀初めには、御神楽が奉納されていたことが分かります。現在、再現されている御神楽が往時の御神楽をどれほど、再現しているのか、不明ではありますが、戦後、古老の指導のもと戦前に奉納された御神楽を復興したと聞いております。
<映像>
また、現在使用されていない神楽面10点があります。面は狐(オス・メス)。医者どん、おかめ、恵比寿、天狗猿田彦、猿田彦、ヒョットコ、鬼(オス・メス)。このうちヒョットコの内面には、「奉寄進 ○○氏 昭和2年3月13日」とあり、また、焼き印があり光具と読めます。現在の保存会は30年くらい活動しているとのことです。
- (会長) 委員(無形民俗専門委員)いかがですか。ご所見は。
- (委員) 市原の場合、鎌倉系統の神楽を念頭において考えなければならない。
十二座神楽というなかで演目が落ちたことなど、考えるポイントがある。
市内のほかの神楽や周辺地域のものについて調べ、比べることが必要。

全体を把握して、位置づけを見ることが重要と思います。

総合的に検討する方向をお願いしたい。

平成15年ぐらいのときもらったリストには民俗芸能が10件ぐらいあったか。

(会 長) 総合的にということですが、他の委員ご意見を。

(委 員) 神楽のお堂はいつごろの建築ですか。

(事務局) 現在の神楽殿はかなり新しい。戦前という程度。

(委 員) 建て替えられたということですか。

(事務局) 丸釘が使用されており、明治22年以後。部材も古くはない。

(委 員) 本殿は指定ですか。

(事務局) はい。建物は本殿と拝殿が市指定です。

(委 員) 映像は全体ですか。

(事務局) 巫女舞が落ちています。

(委 員) 芸能を撮るときは定点観測的にとることと、前後の様子が必要。

内容の比較によって位置づけできるのでまたよろしくおねがいします。

(会 長) ほかになければ。無形民俗専門委員と事務局で指定候補にする方向で調査を進めていただくということよろしいでしょうか。

(委 員) 異議なし。

(会 長) 次に、考古資料についてお願いします。

(事務局) 提案したのは、市原といえば埋蔵文化財の宝庫です。

出土品の数28万箱県内のうち7万1千箱が市原。一方で市原市には考古資料の市指定文化財がない現況をふまえてのことです。最近報告書刊行が進んできたので、いい機会といえるので、条件が整いしだい指定していくという方向を考えている。

- ・西広貝塚の土偶140点ほど。報告完了。
- ・上小貝塚のイノシシ形ほかの土製品。報告済み。
- ・三島台人面付土器。不時発見。
- ・山倉1号墳埴輪。報告済み。歴博常設展。
- ・萩ノ原瓦塔。報告済み。
- ・稻荷台遺跡貞観17年銘土器。報告済み。年号が貴重。
- ・刑房私印。不時発見。

以上7点が、とりあえず報告済みの候補になります。

(会 長) 考古資料について、ご意見を各委員から伺いたい。

(委 員) これまで指定が一度もなかったのもので、大変結構です。

市が所有しているものについては、問題ないでしょう。

個人的に持っているのは候補にないですよ。個人所有を優先的に考えてほしい。

一般に一括指定というのは、判断がむずかしいこともある。まずは、刑房私印とか人面付土器など過去に寄附されたものが良いかもしれない。

人面付土器は発見時の届けの時期が30年ぐらいうずれている。

山倉埴輪の方は、歴博に貸出しているのが問題か。一括という場合、石室周辺も。

(委員) リストには、是非、神門4・5墳を入れてほしい。市の姿勢を示すために入れてほしい。

(委員) 王賜名鉄剣はこれ1本だけではなく、年代決定に関わる土器類関連遺物も指定対象でしょう。

(委員) 稻荷台1号墳出土遺物一括という方向か。

(委員) 鉄剣の遺存はいかがだったのですか。

(委員) 出土時の遺存状態は良くない。

(委員) 一般に、単品主義的な考え方と、歴史資料として一括で考える方法がある。

考古専門委員がおっしゃったのは、単品主義でいけるものをまず指定しておくと言うことです。西広の土偶は後期半ばから晩期までまんべんなくある。一括というのはそこに意味がある。上小貝塚のイノシシ(晩期中葉)については祭祀関係土製品(晩期前半)で一括が良いと思う。

ちなみに三島台が保護法以前というのはどういう経緯でしょうか。

(委員) 保護法以前に寄贈者が取得したものを寄贈されたものです。

(委員) 弥生文化博でも顔の代表になっている重要資料です。

ほかの一括指定するもの場合は中身の吟味が重要になってきます。

(委員) 灰釉浄瓶は単品かな。遺跡一括だと大変でしょう。

とりあえず寄附してもらったものを早いうちにやる必要がある。

大々的にやってください。広報などで誰の目にも届くようにアピールしましょう。

(委員) 千葉県内、市原で考古遺物の指定がこれまで少なかったのは変な感じでした。今後どんどん進めていき市原の特色としてアピールできるようになれば大変けっこうなことだと思います。

(委員) 金環塚は県指定だからいい。

(委員) 板碑についてお聞きしたい。

(事務局) 種子などはなく銘だけ。

(委員) 考古というよりは歴史資料・石造物か。

(会長) 考古資料の指定については、考古専門の両委員から今後専門的なご指導をいただきながら進めて行くことでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

<休憩>

(会長) 後半に移ります。指定文化財候補について終了しましたので、事務局から報告事項の説明をお願いします。

(事務局) 資料8から9頁です。資料に添って説明いたします。

(3) ①平成20年度文化財保護事業(実績)について

1. 文化財審議会の開催 2回(平成20年8月1日、平成21年3月27日)

2. 指定文化財保存修理及び文化財管理事業

- (1) 国指定文化財西願寺阿弥陀堂保存整備事業
- (2) 市指定文化財「小倉家住宅」解体保存工事
- (3) 説明板設置(釈蔵院・瑞安寺)及び改修(上総国分寺西門跡)

3. 普及活動事業

- (1) いきいきいはら歴史セミナーの開催(バス研修・4回)
 - ① 5月24日(土)「かやぶきの仏堂を訪ねる」(市内) 46名
 - ② 8月9日(土)「縄文のおしゃれにチャレンジ」(鴨川) 37名
 - ③ 10月11日(土)「平安時代の如来像を訪ねる 2」(市内) 43名
 - ④ 3月7日(土)「関東の国分寺を訪ねるー武蔵国ー」(市外) 44名
- (2) ふるさと歴史講座(上総国分尼寺跡展示館・全10回) 448名
- (3) 「上総まほろば古代村・上総まほろば祭」(史跡等活用事業)
 - ① 8月2・3日(土・日)「夏休み体験講座」(埋蔵文化財調査センター)
「貝輪づくり・勾玉づくり・アングイン編み・泥めんこづくり」 232名
 - ② 9月14・21日 「古代の衣装づくり」 33名
 - ③ 9月20日・10月18日 「古代の土器づくり」 21名
 - ④ 9月28日 「古代のマイホームづくり」 8名
 - ⑤ 10月31日 前夜祭「更級日記野外音楽劇公開リハーサル」520名
(更級日記野外音楽劇実行委員会)
 - ⑥ 11月1日 本祭「古典舞踊」(市原市古典舞踊協会) 1614名
「十二座神楽」(菊間八幡神社神楽保存会)
「更級日記野外音楽劇」(同劇実行委員会)
 - ⑦ 11月2日「天平の薨コンサート」(ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉) 215名
- (4) 民俗資料展示公開事業「忘れられた漣ー八幡と五大力船の時代ー」
8月11日(月)～9月10日(水) 市民ギャラリー(JR八幡宿駅橋梁)
- (5) 松田正平展に伴う「山倉1号墳の埴輪展示」11～12月 水と彫刻の丘
指定文化財 画像(小倉家のその後)解体風景・収蔵場所

3. 埋蔵文化財発掘調査の平成20年度実績は9頁のとおり。

(3) ② 平成21年度文化財保護事業(予定)について

1. 文化財保護事業

- (1) 民俗資料整理事業
- (2) 市指定文化財仏像修理報告書刊行事業(原稿執筆)

2. 普及活動事業

- (1) いきいきいはら歴史セミナー(バス研修・4回)(別添資料)
 - ① 5月23日(土)市内を中心とした文化財巡り「中世の石造物を訪ねる」
(八幡・無量寺ほか)

- ② 10月10日(土)市内文化財巡り「中世仏像を巡る」(皆吉・橘禅寺ほか)
 - ③ 11月 予定 市外文化財巡り「関東の国分寺を訪ねる:上野国分寺」
 - ④ 3月27日(土)史跡上総国分寺跡周辺文化財巡り
 - (2)ふるさと歴史講座(上総国分尼寺跡展示館・全10回)
 - (3)「上総まほろば古代村・上総まほろば祭」(史跡等活用事業)
 - ① 8月8・9日(土・日)「夏休み体験講座」(埋蔵文化財調査センター)
 - 「貝輪づくり・勾玉づくり・アングイン編み・泥めんこづくり」
 - ② 9月中旬・10月中旬 「古代の土器づくり」
 - まほろば祭(上総国分尼寺跡展示館復元建物)
 - ③ 10月 下旬 本 祭「演 目」未定
 - ④ 11月 上旬 「天平の薨コンサート(仮称)」
 - (ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)
 - (4)「幸いを射抜くー市原の民俗行事オビシヤ」(民俗資料展示公開事業)
 - 8月3日(月)～8月31日(月) 市民ギャラリー(JR八幡宿駅橋梁)
3. 埋蔵文化財発掘調査の平成21年度実績は11頁のとおり。

(事務局) 民俗資料整理事業については、海上幼稚園収蔵資料の洗浄・簡易燻蒸・台帳整備を進める。緊急雇用創出事業として事業化し、審議会専門委員の指導を得て行う。

(会 長) 委員(有形民俗専門委員)から説明をお願いします。

(委 員) 予算化されて進みだしたのはたいへんうれしい。先ず、整理が動くということが重要。どう進めるかは動きながら相談したい。写真や台帳もこれまでの分があるのでうまく活かしたい。収蔵棚・容器を工夫すればもっと入れられる。検討したい。収蔵展示的なかたちで整理することを考えている。棚もいずれ増やし、箱に入れるか、機能別分類で分け、素材別でも分ける。いずれにしろ全体像を把握するというのがはじめに来る。

(会 長) この件でご意見はありますか。

(委 員) 写真の棚の箱は、何でできていますか。

(委 員) ダンボールです。一部、埋文コンテナもありますが、いずれ片付けなければならないものです。

(委 員) 収納箱の予算はどの程度ですか。

(事務局) 需用費が15万ぐらい。

(委 員) ダンボールでいくわけではないですよ。

(委 員) ダンボールはモノによっては良くないので、考えます。

(委 員) ○○家の資料はどうなっていますか。

(事務局) 民具整理の進捗に合わせて、寄贈いただければと考えています。

(委 員) 収蔵はこの場所で今後やっていくのか。

(事務局) 今の所、別の収蔵施設が確保できておりません。今後、検討したいと思います。

(委 員) 心配なのは地震などの災害で、収蔵展示でいくならばいろいろ考える必要があります。

- (委員) 場所についても倉庫であれば不便でもいいけど、展示については困ります。
- (事務局) 民具の常設展示場所は、高滝ダム記念館に少しあるだけで、ほかには昨年は市民ギャラリーで1ヶ月間だけ企画展を行っています。今年度は、1階ロビーで歴史関係のパネル展示を行っています。今後、美術品などと合わせて検討したいと考えております。
- (会長) 民具について〇〇家の資料を見たことがありますが、民具の整理が予算化されたのは喜ばしいことです。この事業については期待したいところです。
展示施設についても検討を進めていただければと思います。
- (事務局) 仏像修理報告書刊行。平成5年から未刊だった5件にかかる報告書を出す事業です。写真・図面・事実記載をまとめ、委員(彫刻専門委員)に監修していただきます。
- (会長) この事業について委員(彫刻専門委員)、お願いします。
- (委員) 市のレベルで報告書を出すこと自体少ないこと。修理前・修理後の比較など意義深いものになるはずです。できれば前回の踏襲ではなく、寺院関係、伝来関係の記述を加えていければと考えています。大変けっこうな事業だと思います。
- (会長) 文化財保護関係事業の説明をお願いします。
- (事務局) 普及活動としてバス研修を計画しています。既に中世の石造物をテーマに第1回目を実施しました。次は中世仏像をテーマに計画しています。委員(彫刻専門委員)に講演をいただきます。
国分寺をめぐるツアーは、上野(群馬県前橋市)を予定。
埋蔵文化財関係では、国分寺台地区は4遺跡整理、台遺跡C地点の報告書刊行。
海保地区の発掘調査の本調査について民間調査組織を導入する予定です。50ヘクタールの事業で、事業者の計画に市では対応できないということで、県も交えて協議し、本調査についてのみ委託することになっています。
- (会長) 報告事項についてご意見ありますか。
- (委員) 国分寺台地区の整理について、僧寺とあるのは下層のことですね。
- (事務局) そのとおりです。第1冊目が上層で刊行済み、2冊目が下層、3冊目が瓦の予定。
- (委員) 僧寺が3分冊ということですが、尼寺の予定は。国分寺台は何年ぐらいかかるのですか。
- (事務局) 尼寺については来年度以降に予定にのせることになると思います。事業配分によりませんが、近いうちに始めなければなりません。平成6年から始めて約15年となります。完了予定については平成27年ですが、人力的な配置からやや遅れる可能性もあります。ただし、大きく延長されることは考えておりません。
- (会長) (4)平成21年度文化財審議会の予定
- (事務局) 第2・3回審議会の日程について、案をお配りしました。
第2回は研修視察になっております。
欠席委員の意向もございますのですぐには決められませんが、今月中にアンケート結果で固めたいと思います。第3回は2月初旬を予定しております。
- (会長) 第3回については平年より早くおこなうということですか。

- (事務局) そうです。
- (会 長) 研修視察行き先は多賀城市ということですが。
- (委 員) 平泉・柳の御所周辺も予定しては。
- (事務局) 周辺ということで検討したいと思います。
- (会 長) 以上、他に議題がなければこれでおわりにしたいとおもいます。
- (委 員) 結構です。
- (事務局) 閉会宣言